

2020年度 年度報告書

岡津町ふれあい公園

- | | | |
|----|-------|--------------------------|
| 1 | 様式 1 | 年度利用料金収入実績 |
| 2 | 様式 2 | 年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率（月別） |
| 3 | 様式 3 | 年度公園利用状況 |
| 4 | 様式 4 | 業務の第三者委託実績 |
| 5 | 様式 5 | 年度修繕実績 |
| 6 | 様式 6 | 年度増減備品一覧 |
| 7 | 様式 7 | 苦情対応報告、事故対応報告 |
| 8 | 様式 8 | 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進結果 |
| 9 | 様式 9 | 収支報告書（指定管理料のみ） |
| 10 | 様式 10 | 運営目標・実績報告 |
| 11 | 様式 11 | 自主事業実施報告 |
| 12 | 様式 12 | 利用者アンケート結果 |
| 13 | 様式 13 | 研修実施報告 |

横浜市指定管理者



(事業報告書様式1)

年度利用料金収入実績

日時	内容	内訳	利用料金収入計
2月29日	分区園利用料金の徴収	12 m ² (10,800 円)×35 区画 25 m ² (22,500 円)×2 区画	¥423,000
3月12日～ 3月26日	分区園利用料金の徴収	12 m ² (10,800 円)×3 区画	¥32,400
4月23日	分区園利用料金の徴収	25 m ² (22,500 円)×1 区画	¥22,500
合計金額			¥477,900

(事業報告書様式2)

年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率(月別)

月別	分区園利用区画数	稼働率
4月	41	100%
5月	41	100%
6月	41	100%
7月	41	100%
8月	41	100%
9月	41	100%
10月	41	100%
11月	41	100%
12月	41	100%
1月	41	100%
2月	41	100%
3月	41	100%

(事業報告書様式3)

年度公園利用状況

月別	分区園以外の利用人数	備考
4月	9	散歩・遊び 9名
5月	1	収穫体験 1名
6月	0	
7月	2	収穫体験 2名
8月	0	
9月	0	
10月	1	収穫体験 1名
11月	3	収穫体験 3名

12月	1	収穫体験 1名
1月	8	収穫体験 1名、散歩・遊び 7名
2月	0	
3月	0	
年間合計	25名	

(事業報告書様式4)

業務の第三者委託実績

業務	内容	再委託会社 及び金額	年回数	実施月日	評価	対応 状況
草刈工	斜面地の草刈	(有)和泉園 ¥528,000	1回	7月20・21日	◎	
清掃工	園内及びトイレ 清掃	特定非営利法人 い ずみ福祉会 あいあ い緑園 ¥139,700	週3日(年 末年始等 除く)	通年 延べ 127日	◎	巡回 含む
電気設備点検	㈱平岡電機工事	園内灯設備保守点検 ¥62,000	年1回	2月24日	◎	
コールセン ター	京浜警備保障(株)	夜間、年末年始、緊 急時等対応 ¥33,000	通年	通年	◎	
清掃工	金沢臨海サービ ス(株)	年末年始の建物清掃 ¥29,700	1日	1月2日	◎	巡回 含む
施設管理	廃棄物処分	緑のリサイクルプラ ント ¥80,300	随時	通年	◎	

(事業報告書様式5)

年度修繕実績

修繕年月日	修繕箇所	金額	委託業者名また は直営かの記載	対応状況
8/19	水切りバケツ の修繕	1,000円	直営	トイレモップ用の水切りバケツの ネジが壊れ、水が切れなくなっ ていた為水を切れるようにした。
9/10	ベンチ修繕 (ネジ固定)	500円	直営	上段ベンチの板にぐらついていた ので、ネジを固定し直した。
9/26	トイレ扉修繕	1,000円	直営	男子トイレ用扉が途中までしか閉 まらなくなっていた。ストッパー が曲がっていた為、直した。

10/21	男子トイレ扉 修繕	1,000円	直営	男子トイレの扉が外されていたのではめ直した。
3/9	テーブル板交 換	63,000円	直営	下段テーブルベンチの板を新しい物へ交換した。
3/1～31	区画番号札の 更新	61,500円	直営	古くなった区画番号札を新しい物へ交換した。
	修繕実績 計	128,000円		

(事業報告書様式6)

年度増減備品一覧

今年度増減なし

(事業報告書様式7)

苦情対応報告

	年月日	内容及び苦情者	対応結果
1.			

特になし

事故対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1			

今年度事故なし

(事業報告書様式8)

市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

<p>・自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ</p> <p>分区園利用者に対しては、様々なサポート（栽培技術向上のサポート・初心者の方の収穫までの道のりのサポート・楽しい菜園活動のためのサポート）を行い、栽培意欲の向上・農の普及を目指しました。職員常駐ではない公園ですが、サービスは平等に提供できるよう工夫しました。</p> <p>その他の一般利用者に対しては、農や野菜に対する興味関心の芽生えを狙った収穫体験や、無料配布を行いました。農園付き公園としての魅力発信のみならず、楽しみ方を増やし魅力向上をしていくことで、利用者層の拡大を目指しました。その結果、お散歩利用していた方の来年度以降の分区園利用が決定しました。</p> <p>また、当公園は小さく駐車場もないため、徒歩圏内の利用者がほとんどです。また来たいと思っただけのように、季節の植栽やスロープの賑わい創出に力を入れ、公園のファンやリピーターづくりに努めました。</p> <p>・市民サービス向上取組の考え方</p> <p>農体験として、土に触れたり、植物の成長を観察したり、収穫体験をすることは、喜び・感動、好奇心や驚きが心を耕し、満足感と感謝の気持ちという実りを与えてくれます。当公園のある泉区は、経営耕地面積が市内1位ですが、高齢化などにより戸数、面積共に年々減少してきています。利用者が気軽に農と触れ合える公園づくりをし、農のある暮らしを普及・維持し、地域の新たな交流拠点とな</p>
--

ることを目指しています。

・利用促進の取組利用者支援等の取組について

多様化する利用者のニーズに合わせ、当団体の強みである多様な人材や、ネットワークを発揮し、初心者の方も経験者の方も楽しく参加でき、継続できるよう栽培指導や資材販売等サポートを行いました。地域や利用者に寄り添い、きめ細やかな対応・ニーズの把握で公園利用の促進に努めました。

・指定管理者が課題に感じている公園運営改善策

(課題 1) 分区園利用者以外の地域住民や利用者が集える場所がありません。また、利用エリアに偏りがみられます。

(解決策) 特に利用率の低い中段エリア一帯では、イベント開催が難しかった今年度は、レイズドベッドの運営や、入口プランターへの季節の植栽等を行い、植物を見て楽しめる空間づくりに力を入れました。公園開園時に植栽されたブルーベリーやブラックベリーの植栽管理にも力を入れ、果樹の収穫を楽しめ、人々が集まる空間になるように努めました。

(課題 2) 協働農園だけでは小さく、市民のニーズを満たしていくことが困難です。

(解決策) 公園全体を活かし、見て楽しむお野菜ロード、実が生る梅林管理等により、地域住民が農や野菜と触れ合える機会を幅広く提供しました。

・広報やパブリシティ取組の考え方

農園付公園は、「分区園利用者を増やすこと」が管理運営の中で大切です。来園者に分区園、公園の魅力を知っていただき、「分区園を借りてみたい」と思ってもらえるような広報を行いました。

野菜の生育・季節の花など何に興味を示してくれるのか、地域のニーズの把握や分析も日々行いながら、タイムリーな情報発信を心掛けました。

・利用者ニーズ把握取組の考え方

多様な利用者のニーズを漏れなく拾うために、下記 4 つの方法でニーズ把握に努めています。いただいたニーズについては、前向きかつ迅速な対応と公園運営への反映で、利用者がより使いやすい・魅力的な公園を常に目指しています。

- ① 笑顔で挨拶運動：職員が公園利用者と積極的にコミュニケーションを図り、笑顔で声掛けする事で利用者の声が聴きやすい雰囲気を作りました。
- ② ご意見箱の設置：いつでも利用者が要望や意見をあげられる場を設けました。
- ③ HP の運用：公園専用 HP の問合せ欄からの声にも丁寧に対応しました。
- ④ 対面式聞き取りアンケート：定期的にアンケートを実施し、職員の接遇や公園利用への満足度、施設の管理状況について利用者から評価を受けました。

(事業計画書様式 9)

収支報告書 (指定管理料のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	4,680,000		4,680,000	4,770,600	-90,600	計画段階での記載ミスの為
利用料金収入	477,900		477,900	477,900	0	900円/㎡計算
自主事業収入	37,000		37,000	24,650	12,350	
雑入	0		0	0	0	
その他雑入	0		0	0	0	
収入合計	5,194,900		5,194,900	5,273,150	-78,250	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	3,216,000		3,216,000	3,216,000	0	
給与・賃金	2,754,000		2,754,000	2,754,000	0	
社会保険料	385,000		385,000	385,000	0	
通勤手当	62,000		62,000	62,000	0	
健康診断費	15,000		15,000	15,000	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	672,000		672,000	903,290	-231,290	
旅費	62,000		62,000	10,000	52,000	
消耗品費	200,000		200,000	244,000	-44,000	
会議賄い費	20,000		20,000	15,000	5,000	
印刷製本費	50,000		50,000	181,500	-131,500	広告宣伝費
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
	0		0	0	0	
	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	26,000	24,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設責任賠償保険	0		0	20,190	-20,190	
職員等研修費	30,000		30,000	150,000	-120,000	
振込手数料	10,000		10,000	7,000	3,000	
リース料	250,000		250,000	249,600	400	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
自主事業費	100,000		100,000	9,000	91,000	
管理費総合計	3,988,000		3,988,000	4,128,290	-140,290	
光熱水費合計	0		0	0	0	
光熱水費（電気）	0		0	0	0	
光熱水費（ガス）	0		0	0	0	
光熱水費（水道）	0		0	0	0	
光熱水費（下水道）	0		0	0	0	
清掃費	180,000		180,000	139,700	139,700	
修繕費	128,000		128,000	128,000	128,000	
機械警備費	0		0	0	0	
施設保全費	709,500		709,500	733,000	-23,500	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	72,500		72,500	62,000	10,500	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
その他保全費・園地管理費	637,000		637,000	671,000	-34,000	草刈 52万8,000円、コールセンター3万3,000円、巡視清掃工2万9,700円、ゴミ処分料8万300円
共益費（合築等の場合）	0		0	0	0	
公租公課	0		0	0	0	
公租公課（事業所税）	0		0	0	0	
公租公課（消費税）	0		0	0	0	
公租公課（印紙税）	0		0	0	0	

その他公租公課	0	0	0	0
事務経費	189,400	198,400	90,450	290,522
事務経費（本部分）	189,400	189,400	35,950	340,022
事務経費（当該施設分）	0	0	23,900	-18,900
その他経費（当該公園分）	0	0	30,600	-30,600
支出合計	5,194,900	5,194,900	5,219,440	-140,968
差引	0	0	53,710	-53,710

(参考) 指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	30,000		72,165	自動販売機
設置管理許可支出合計	1,960		36,709	電気代含む
差引	28,040		35,456	

(事業報告書様式 10)

運営目標・実績報告

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組(改善計画)
業務運営1 (達成目標、運営業務の実施方針)	より多くの地域の皆様に野菜づくりの楽しさを感じてもらい、農のある暮らしの普及・維持を目指します。	分区園利用率100%を目指します。	分区園利用率100%	差異なし	引き続き分区園利用率100%を維持しつつ、更にサービスの向上と分区園利用者との交流を深めます。
業務運営2 (利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上)	分区園利用者のみならず、広く利用者へ多くの農体験や野菜に触れる機会を提供し、農への興味関心の芽生えにつなげます。	収穫体験者年間延べ90名を達成させます。	25名実施 新型コロナウイルスの長期流行により、イベント中止が相次ぎ、収穫体験人数が減少した。	-65名	分区園利用者以外の協働農園への来園者を更に増やすために、気軽に参加できる収穫体験の数を増やします。
業務運営3 (人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応)	公園状況や利用者層に応じた人材・人員の配置を行います。	補助を必要とする利用者が参加するイベント等におけるサポート体制を充実させます。	人員配置表の通り人員を配置しましたが、新型コロナウイルスの流行により補助を必要とする利用者が参加す	未達成 (補助を必要とする利用者が参加するイベント)	引き続き人員配置表の通り人員を配置して運営に関わっていくことで、誰にとっても安心安全な公園運営に努めます。 今後は、補助を必要

			る集客イベントの開催が出来ませんでした。		とする利用者が参加するイベント開催に向け、サポート体制を整えます。
人材育成 研修実施効果等	高いコミュニケーション能力を有し、公平公正の精神のもと、利用者のレベルに応じた栽培指導が臨機応変にできる人材を育てます。	野菜づくりに関する知識・指導内容についての共有により、職員のレベルアップを図ります。	職員間のコミュニケーションによる情報共有、栽培相談員による農業研修により職員のレベルアップを図りました。	差異なし	引き続き農園付き公園の職員として必要な能力（お客様目線で考え、行動できる）を身に付けられる研修を行います。
維持管理1 (施設の保守管理、補修計画)	長寿命化に向けた維持管理・小破修繕につとめます。	水準以上の巡回により、発見された不具合は随時修繕を行います。	水準書では週2日の巡視のところ、週5日巡視を行い、不具合の早期発見に努めました。	週+3日の巡視実施	維持管理水準書に則った法定点検を随時実施します。また、施設等の劣化状況を確認・監視することで必要な部材の修繕(クラック補修・塗装等)・取り替えを行います。更に、植栽管理にも力を入れ、誰もが安心安全に寛ぐことができる空間をつくります。
維持管理2 (清掃、園地維持管理、災害対応)	台風・豪雨による被害の軽減につとめます。	事前・事後の迅速な臨時巡回及び対策を実施します。	台風、豪雨後の臨時巡視の実施や、事前に飛散物の撤去や側溝清掃の実施を行い、被害軽減に努めました。	差異なし	日常清掃に力を入れることで、建物や設備の維持管理を徹底し、いつも清潔な状態を保ちます。

収支 修繕等、収 入、支出)	サービスの質と 費用のバランス を検討し、無駄 な支出を抑えま す。	収支予算書に基 づく確実な予算 執行を行います。	計画に基づいた 予算執行を行 いました。	収支報告 書の通り	修繕に関わる物品等 について、購入前の 価格調査を行うこと はもちろん、強度や 耐久年数などを検討 した上で、適正な収 支予算を立て運営し ます。
経費節減策	サービスの質は 下げずに、無駄 な支出を抑ええ てコストをコン トロールしま す。	知識と技術を有 する現地職員の 登用により、費 用対効果を向上 させます。総合 園芸会社の強み を活かし道具・ 資材の調達方法 を工夫します。	農業に関する知 識や維持管理作 業に関する知識 のある職員登用 した。 総合園芸会社の 強みを活かし、 安価で仕入れら れる物を使用し ました。	差異なし	収穫体験や園内収穫 物を公園利用者に提 供することで、農業 の活性化に繋げてい きます。また、直営 作業を中心とするこ とで委託費縮減に努 めます。更に、取引 先から安価に購入で きる資材を活用しま す。 道具類は常に安定的 に使えるよう丁寧な 扱いをし、使用した 後はこまめに手入れ することで、長寿命 化に努めます。

(事業報告書様式11)

自主事業実施報告

事業名	目的・内容	実施時期・回数・収支状況・ 実施結果考察
栽培講習会	週 2 日の巡視日の他にも耕作アドバイスを実施しまし た。栽培相談員は、全国の農家を相手に指導・相談をし てきたベテラン栽培相談員であり、土づくりから収穫ま で指導を行いました。 4月～7月は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、 栽培相談員による畑のチェックにて対応しました。	4月25日、5月16日、6月20 日、7月17日、8月21日、9 月18日、10月16日、11月 20日、12月18日

栽培相談ノート	栽培相談日に来られない利用者のために、栽培相談ノートを設置しています。栽培している作物での質問や次に育てる作物への相談など栽培に関する質問を受け付けました。回答は、巡視日・栽培講習会日にノートに記入し、誰でも閲覧できるようにしました。	4～3月 常時設置
栽培のヒント集 ～文書コーナーの設置～	初心者の方でも楽しく菜園づくりができるように、野菜作りの本等菜園づくりのヒントになる文書を設置し、菜園づくりのお手伝いをしました。コンパニオンプランツの推奨や、連作障害についても知ってもらう等、初心者でも失敗しない野菜づくりをサポートしました。	4～3月 常時設置
土壌検査	土壌の酸度を測定するサービスです。土の状態を利用者に把握していただき、次に育てたい作物に適した土壌、肥料の調整に役立てていただきました。	4～3月 随時
資材の無償提供	楽しい菜園活動をサポートするために、雑草及び乾燥抑制効果のあるマルチング材や害虫対策となる木酢液を無償提供しました。	4～3月 常時設置
無料貸出しコーナー	整理整頓の啓発として、ほうき・チリトリ・雑巾、台車・クワ・スコップを上下段倉庫内に1つずつ設置し、利用者が自由に使えるようにしています。 散水栓用の給水ホースを倉庫内に設置し、散水栓にはホースアタッチメントを取り付け、給水ホースを用いることでBOX内の散水栓が使えるようにしています。ホースから直接の散水は他の利用者に迷惑となるため禁止事項とし、じょうろやバケツに汲んで使用するよう、「利用のルール」も掲示しています。 また、収穫後に野菜の運搬、水道場での洗浄に使ってもらうためのカゴの貸出も引き続き行っています。	4～3月 常時設置
お片付けのサポート	栽培技術向上及び分区園利用者の利便性向上の目的で、日時限定で、収穫残渣の回収サービスを実施しました。野菜の切り替え時期限定で行い、「夏野菜の片づけが遅いことで起きる秋冬野菜の生育不良」を防ぐことにも繋がりました。	8月19・26日、2月20、27日、3月10日
耕作記録書の作成・配布	連作障害を防止するために、分区園利用者に菜園で育てた作物を記録してもらい、畑の更新時に次の利用者へ配布し、畑づくりへ役立ててもらいました。	3月16日～3月31日 入金確認後に随時郵送

菜園利用者看板づくり	畑の名札（看板）を利用者に制作していただきました。名札の設置により、自分たちの農園だということを感じて楽しく野菜づくりに取り組んでもらうだけではなく、管理者（区画利用者）が見えることによる野菜の盗難等イタズラの抑止にも繋がりました。	4月～3月常設
野菜の美味しいレシピの紹介	旬の野菜のレシピを紹介し、分区園利用者の耕作意欲を高めました。	4月～3月常設
花いっぱい活動・花育活動	季節の花々やチューリップ、蝶々が好む植物等で公園内を彩りました。特にアイスチューリップやアルストロメリアなど当団体ならではの植栽を行いました。	5月16日、6月6・13・20日、7月4・11日、10月29日、11月19日、12月19日、3月20日
収穫体験・無料配布	指定管理者が育てる作物の収穫体験を呼びかけました。また、倉庫脇での無料配布も行い、スタッフ不在時にも農の魅力を感じてもらえるようにしました。	5月23日、6月10・16日、7月1日～9月30日、10月3・8・15日、11月11・21・3日、12月28日
熱中症予防の啓発	日陰がない為、熱中症予防の啓発として、以下を行いました。 ・熱中症予防の啓発 熱中症予防の為にすべきことや、熱中症になったときの対応について書いてあるポスターを掲示しました。 ・休憩できる空間の提供 晴天のスタッフ巡視日にテントを設置し、日陰を作りました。	6月6日～9月24日
公園探検	散歩が楽しくなるしかけづくりとして以下を行いました。 ・見て楽しむお野菜ロード スロープ沿いにオクラを植え、より多くの皆様に不自由なく野菜と触れ合ってもらえるようにしました。 ・アイスチューリップの植栽 花いっぱい活動の一環でもありますが、スロープ沿いや梅林広場下にアイスチューリップを植え、公園全体に訪れてもらえるように取り組みました。	5月13日～10月15日

ハートフル菜園の活用 (レイズドベッド)	車椅子の方や高齢の方でも足腰に負担を掛けず土と触れ合ってもらうため、レイズドベッドを設置、運営しています。近隣老人ホームと協働で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度は中止となりました。	4月～3月随時
障がい者支援施設との協働・連携	就労支援及び障がい者の皆様に、岡津町ふれあい公園の美観の形成・維持を支える一員として、やりがいを感じていただく目的で、清掃・巡視業務や公園美化業務など様々な形で公園運営に関わっていただきました。	4月～3月 週3日
HP・SNS更新 (Twitter) (Facebook) (インスタグラム)	地域の方への情報発信を行うため、活用しました。来園しなくても公園情報が分かるようにしました。来園のきっかけづくりになるように、明るい雰囲気の写真を使用するように心掛けました。	4月～3月随時
季節の装飾	一年を通して季節の花で彩る他、花の少ない冬季にも季節感の演出を行いました。門松飾りは、他指定管理公園で採れた竹や、当公園の梅の枝を用いてスタッフが作製しました。	12月26日～1月9日(門松飾り設置期間)
種・資材の現地受け渡しサービス (資材販売)	堆肥等の重たい資材を職員が現地までお届けするサービス。利用者が車で来園できないことによる資材運搬の負担を減らすことができ、快適な菜園生活をサポートすることを目的に実施した。現地販売資材は、堆肥や石灰、配合肥料の他、当団体オリジナルの発芽率の良い高品質な種等、幅広いニーズに対応するよう心掛けた。	4月から3月随時
ワンコイン！ 耕運サービス	夏野菜から秋冬野菜の切り替え時など希望者の畑の耕運を行いました。(100円/1回)	4月から3月随時

(事業報告書様式12)

アンケート項目

1. 貴方の年齢層・利用方法を教えてください。

①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代 ⑦80代以上

①単独利用 ②夫婦利用 ③親子利用 ④グループ利用 ⑤その他()

2. 今年度分区園利用について、ご満足いただけましたか?該当するものに○をして下さい。

①とても満足 ②満足 ③ふつう ④やや不満 ⑤とても不満

3. 指定管理者 横兵植木株の今年度の働きはいかがでしたか?

①とても良かった ②良かった ③ふつう ④悪かった ⑤とても悪かった

4. 分区分園の利用頻度はどのくらいでしたか？

- ①毎日 ②3日に一回 ③1週間に一回 ④2週間に一回 ⑤1か月に一回

5. 分区分園の利用時間について、季節ごとに該当する番号をご記入下さい。春： 夏： 秋： 冬：

- ①早朝（6時～9時） ②午前中（9時～12時） ③午後（12時～15時） ④夕方（15時～18時）

6. 分区分園のご利用目的は何ですか？

- ①趣味 ②健康 ③生きがいづくり ④お子様の食育 ⑤その他（ ）

7. 分区分園を通して新しく築いた関係はありましたか？ ①はい ②いいえ

8. 共有施設部分は利用者による日常管理をお願いしていますが、どのくらいの頻度でしていましたか？

- ①週一回程度 ②月に一回程度 ③2か月に一回程度 ④3か月に一回程度 ⑤していない

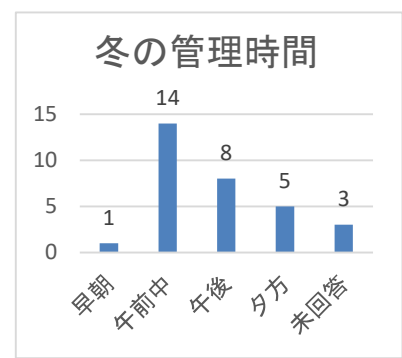
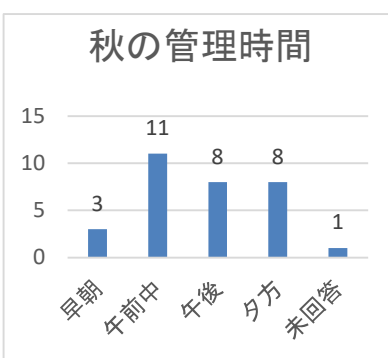
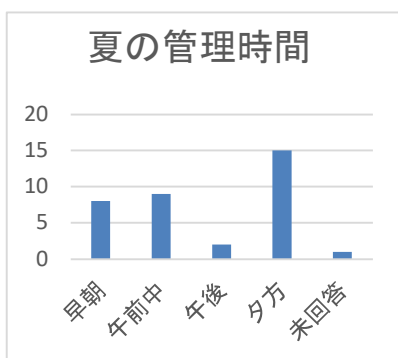
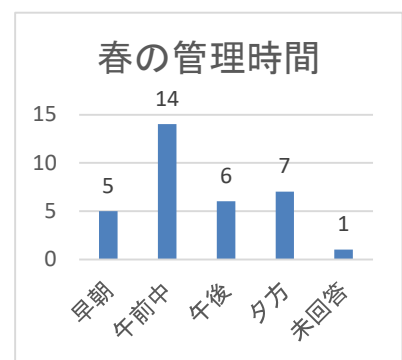
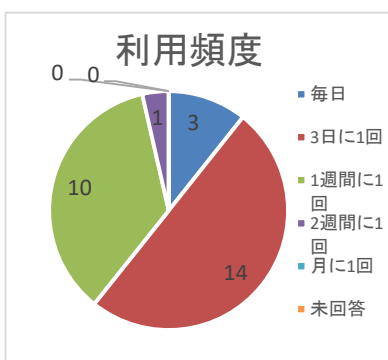
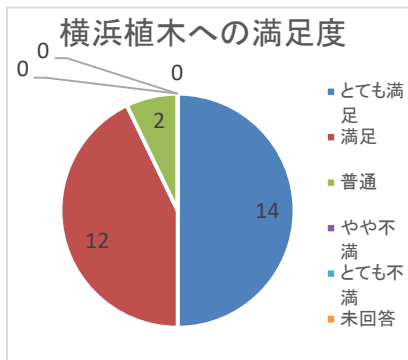
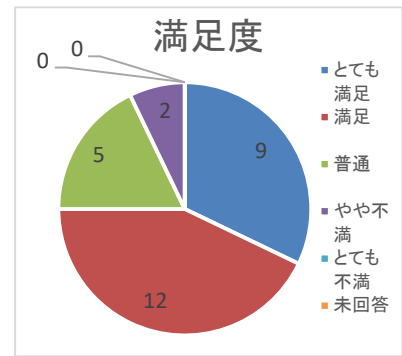
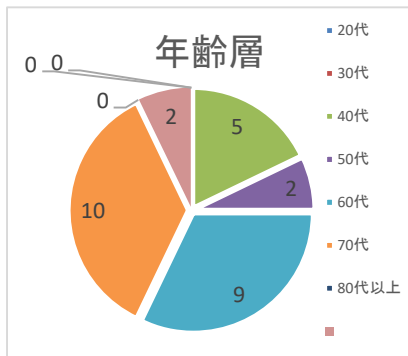
9. 倉庫の使い勝手がいかがでしたか？ ①良かった ②悪かった

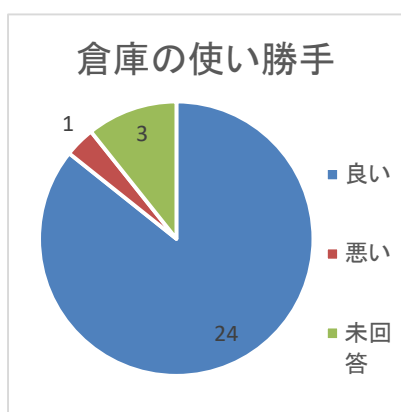
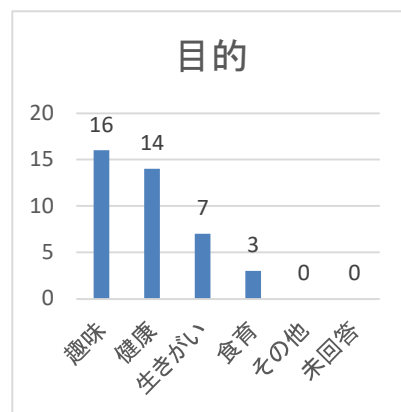
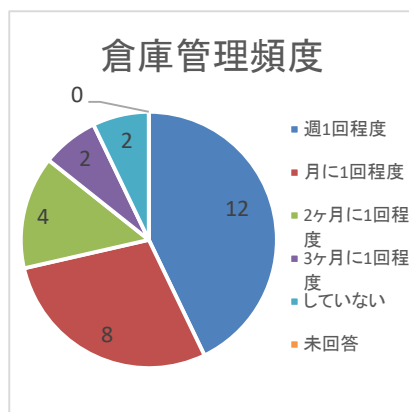
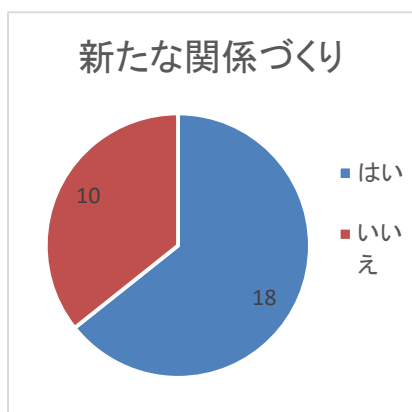
10. 9. で②悪かったと答えた方は、その理由があれば教えてください。

11. 分区分園の利用について、何かご要望がございましたら、ご記入お願いいたします。

・利用者アンケート結果

岡津町ふれあい公園分区分園（全 28 枚）





倉庫について : 使い勝手が良い。掃除もしてあり、ありがたい。
狭い。

ご意見、ご要望

ご意見 : 本年度はコロナ自粛で後半は利用を控えたため、少し残念でした。

自分と横浜植木の方との時間が合わず、お聞きしたいことがなかなか聞けず、残念でした。
ホースで水やりができると楽ですが…

ご要望 : 収穫後の植物を捨てるゴミポストがあればありがたい。堆肥にして再利用もできる。
3年間継続してもらいたい。

アンケート結果より（総括）

利用者層は、40代から70代と幅広い年齢の方に利用してもらいました。

横浜植木に対しての満足度は高く、積極的なお声かけやサポートの効果ではないかと考えられます。

今後も高い満足度を維持していけるよう努めます。

倉庫の清掃に関しては自主管理をお願いしており、利用者の皆様も週1回や月に1回清掃してくださる方が多く、利用者の皆様が積極的にきれいに使おうとしてくれていることが分かりました。

あいあい緑園さんによる週3日の清掃もあるため、とても綺麗な状態で管理できています。

(事業報告書様式 13)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	9月16日	農業研修	職員の栽培技術の向上を目的に、無農薬栽培について学びました。
2	10月27日	公園管理職研修	事業計画や運営、体制などについての研修を実施しました。
3	11月10日	公園施設点検研修（樹木点検）	横浜市主催の樹木点検に出席し、樹木の点検方法を学びました。
4	11月26日	盲導犬ユーザー受け入れ・接客セミナー	盲導犬についての知識を習得、視覚障害者が施設を利用するときの対応方法を学びました。
5	11月27日	植栽管理技術研修	他指定管理公園にて、梅の剪定について学び、果実をつけるためのポイント等合わせて学びました。
6	12月1日	施設点検研修	施設の安全レベル向上を目的に、施設点検時のポイントについて学びました。
7	12月8日	安全運転研修	車の運転について、注意するポイントなどをドライブレコーダーの映像を用いて行いました。
8	2月18日	クレーム対応研修	クレームが発生したときの対応方法を学びました。
9	3月17日	個人情報保護研修	公園業務において重要なスキル・考え方を身に着けるための研修を実施しました。
10	4月～12月 月2回開催 (全9回)	植栽管理技術研修（野菜づくり）	栽培相談員を講師に園地管理技術の向上を目的に野菜の育て方や土作りなどについての研修を各公園内にて行いました。